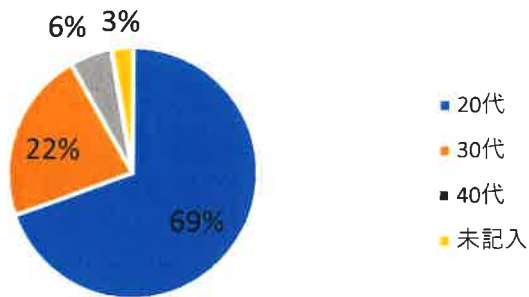
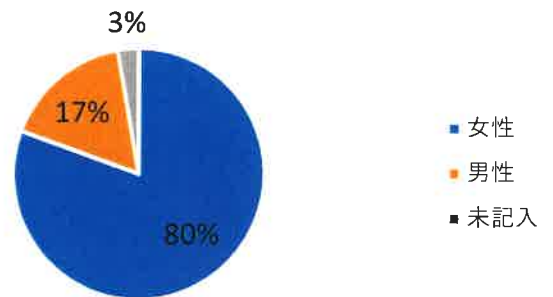


参加した年代

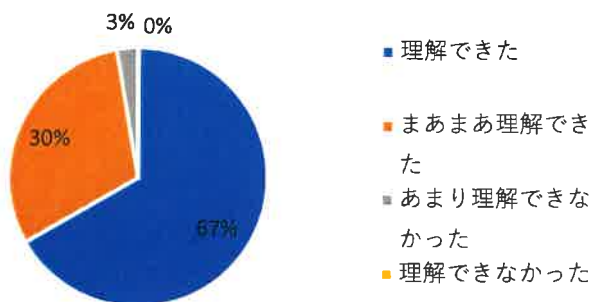


性別

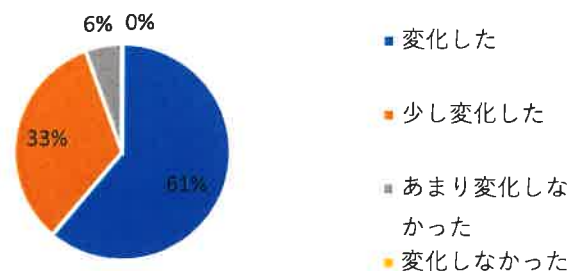


1 第1部 講演について

1) 「なぜ国会に看護職がいなければならないか」について



2) 研修に参加する前と後で、「国会に看護職がいなければならない」と考えは変化しましたか



1) 「なぜ国会議員に看護職がいなければならないか」について

①理解できた

- ・医療のことについて知ってる人が少なく間違った方針になると医療現場が大変になるため。
- ・看護の現場を知っている人しか分からないことがあるため。
- ・現場の声を国会に届け、いち早く世の中を変えていくことが出来る。
- ・国会議員は医療に関することを実際に分からないことがあるので、看護職がいることで医療の現状を伝えることが出来ているのだと知った。
- ・現場の意見を政策などに取り込めるようにするために必要だということが理解できた。
- ・感染者数の増加による医療職の仕事やプライベートへの影響を感じていました。安心して過ごせるような世の中になるよう、政策面でのアプローチの必要性を学びました。
- ・看護の現場の問題を国会で訴えることで、よりよい看護ができる環境をつくることに繋がるのが分かった。声を出すことで政策を変えられることが分かった。
- ・7対1でも辛いのに10対1なんて絶対に辛いと思った。働いてない人の意見だと思った。
- ・現場を理解している人がいないと話し合いをしても単純な数字のみで判断されかねないと思った。
- ・政治の話だったが平易な言葉を用いた説明であり分かりやすかった。
- ・看護師として勤務したことのある方でないと分からない対策や改善点を直接政治に反映できる。
- ・看護に知識のある議員が行う看護政策は波及効果が大きいと分かった。

②まあまあ理解できた

- ・医療の事を知らない議員さんが多く看護職に不利益となる法案になってしまう可能性があるため国会に議員さんがいなければならないことが分かった。

2)研修に参加する前と後で、「国会に看護職がいなければならない」と考えは変化しましたか

①変化した

- ・正しい方向に政策がなされるように専門職がいた方がいい。
- ・今まではあまり考えてはいないことだったが、そんなことがあったのかと驚いた。しっかり現場を知っている人がいるのが大切だと思ったから
- ・看護に関わる日本の人口を考えると日本の2/3の人々に影響が与えられるということを知った。
- ・100年での医療の現状について伝えてくださったため。
- ・何で国会に看護職がいなければならないか分かっていなかったため。
- ・看護職がいることで現場の環境を伝えることができると感じたから。
- ・国会で沢山の意見交換がなされていることが分かった。
- ・看護政策で私たちの職場を良くすることは日本国民がよくなることと分かった。
- ・医療を知っていないと、現場が困っていることがはっきりと分からないため。
- ・看護の代表が国会にいないと看護・医療の現場の声がダイレクトに届かないということが分かった。
- ・国会の中に看護の専門がいることで、現場の声を届けやすくなるということが分かった。

②少し変化した

- ・看護職がいなければならないと思っていました。さらに議員さんが増えたら良いなと思いました。
- ・100年対策にまで素早く対応されており、国民に医療者への偏見が減ったと感じる。

③あまり変化はなかった

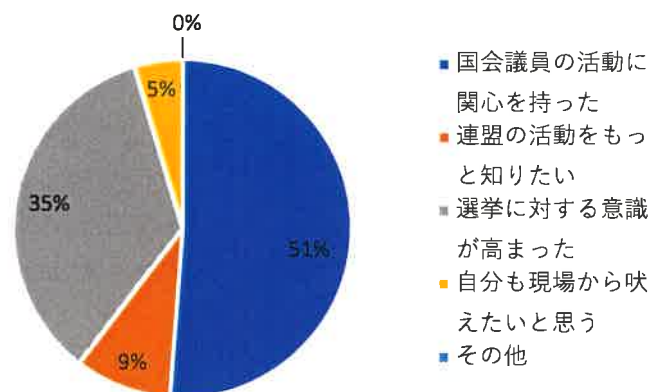
- ・もともととしてほしいと思っていたため。

3)どのように変化しましたか

①国会議員の活動に関心を持った理由

- ・患者さんから医療者は自分の身体を危険にしてまで業務しているのに国は何をしているんだ。休みとかお金をしっかり渡すとか、皆支えてあげないとと言われたことがあったが、優先順位をつけて政策がされていることを知れた。

3)どのように変化しましたか

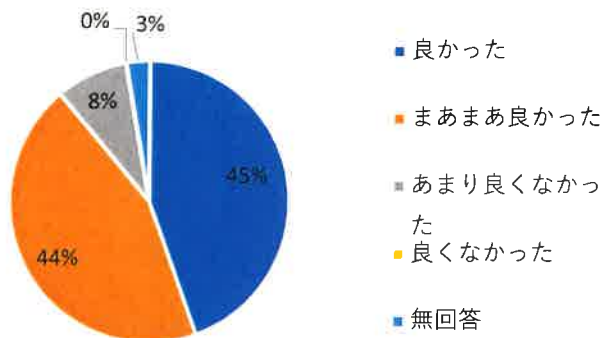


⑤その他

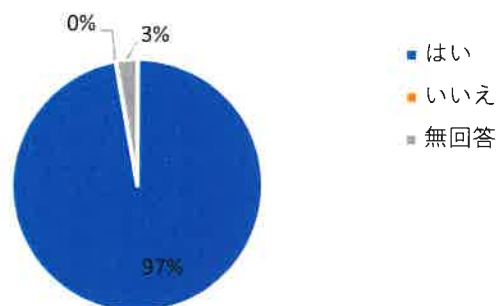
- ・なぜ今、東京から？リモートでも良かったのでは？

2 第2部 意見交換について

1)意見交換のやり方や内容はどう でしたか



2)看護の現場を解決するためには、看護の声を国政に届けることが必要だと考えますか



1) 意見交換のやり方や内容はどうでしたか

①良かった

- ・他の人の意見を聞いた。
- ・他病院の人のコナでの影響を知ることができ、看護師間での苦悩もわかることが出来た。
- ・現場での現状の細かいところまでの話を国会に持ち帰っていただく場ができて良かったのではないと思う。
- ・自分が勤めている病院以外の実状を知ることが出来ました。今後いつまで続くか分からない現状に不安を抱えながら働いているのだと感じました。
- ・自分自身の考え、意見が出てきませんでしたが、他の病院で働いている方の意見を聞いて、自分の働いている病院では何が困っているのかももっと考えて働き、意見を出して働きやすい環境にしたいと思った。
- ・他施設で起こっている現状も知ることが出来た
- ・現場の意見を国会に伝えてもらえるといいです
- ・現場の声を直接、秘書の方に届けることが出来ていたから
- ・盛田さんが意見をまとめてくださって、とても分かりやすかった
- ・コナの中で働く様々な医療現場の意見が聞けて勉強になった

②まあまあ良かった

- ・皆さんの思いを知れた。
- ・急に当てられてびっくりした。言いたいことは言った。
- ・現場で起きている様々なことを聞けて五反分先生から意見を聞いたから。

③あまり良くなかった

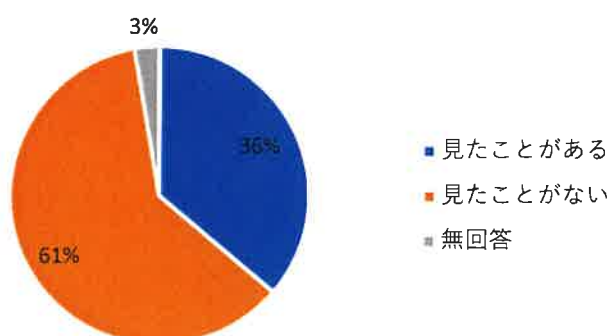
- ・皆の前で挙手して質問することは難しいと思う。
- ・挙手して全員の前で発言するのは意見交換しにくかったと思う。

3)現場の声（現場で起きている問題等）

- ・人手が足りないために時間外業務が多く、帰宅時間が遅くなり家族、子供との触れ合いの場が持てなくなる。看護師になりたくなってしまったのに、看護師が嫌になりつつある。
- ・コナで物品が足りず配給してくださっていると思うが、やはり足りない。マスクは依然として1日1枚で、やむを得ない場合以外交換ができない状況が続いている。引き続き物資を届けてほしい。
- ・認知症が進行しているように思う。患者同士のコミュニケーションも図れず、他疾患にも気を使うべきだと思います。

- ・看護師の数が少なく重症度が高いため、時間内に仕事が終わらない。
- ・夜勤でも心の余裕を持って働けるように人員を増やしてほしい。
- ・看護師、介護士の人数が不足している。物品不足（ガウン、ゴーグル、マスク等）
- ・ｺﾏ患者を受け入れており、病棟Nsが応援に行かなければならない
- ・高齢者が多く、入院後自宅へ帰れない人が多く療養型病院や施設へ入所する方向になってしまう。しかし療養型病院や施設はいっぱいでなかなか受け入れ先が決まらない場合が多く、その間にも新しい患者が入院してくるため、ベッドが足りない状況になることがあって、とてももどかしい気持ちになることがある。看護職も介護職も足りないのはわかるが、何とかならないかと切実に思う。
- ・ケア加算を受けるためパソコンで入力しなければいけないこと等、仕事が増えていくため大変なので、もっと簡単にしてほしい。
- ・ｺﾏの検査をした患者は結果が出るまで防護しなくてはならず、出入りに時間が関わらず、呼吸器のついた重症者、認知症のセンサーをつけた患者、臥床の全介助の患者を一緒に見るのはきつい。日勤も夜勤も人手不足です。
- ・7対1が10対1になるのは現状では無理だと思うので引き続き訴えてもらいたい。
- ・新生児集中ケア認定看護師も診療報酬を認めて欲しい。小さな命を守る看護は未来の納税者にも繋がる大事な実践を行っています。高齢者の対応も重要ですが、未来の人を普通に成長できるように関わっている認定がいることも認めて欲しいです。
- ・スタッフの慢性的腰痛・肩こり。
- ・介助度の高い患者でベッドが埋められている。
- ・ｺﾏの感染対策のために、面会の制限を行っています。直接会うことが出来ない代わりに、対応として、Ipad面会を取り入れています但し機器の数に限りがあり、どうしてもｺﾏ前より交流が減っている状況です。時々、もう少しこの制限のある中で家族と患者さんが近く感じられるような方法はないか考えることがあります。
- ・年休がとれないのが辛いです。他の職種は「最低〇〇日とりなさい」と職場で言われるのに私の病院では全く取れません。たまに勝手に半休などで消化されているぐらいです。自分で選択して年休を取りたいです。同じく夏季休暇も。休みやプライベートが充実しないと働きません。国でNsも年休を使うよう言ってほしいです。
- ・病院によっては患者家族の面会制限がある中、私の病院では医師の許可がある患者家族のみ許可されていることに疑問を感じています
- ・介護をアシストする機械・ロボットが欲しい

富山県看護連盟ホームページを見たことがありますか



看護職国会議員の氏名を知っていますか

